



平成22年8月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年7月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 島忠

コード番号 8184 URL <http://www.shimachu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下視希夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 出村敏文

TEL 048-623-7711

四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第3四半期の業績(平成21年9月1日～平成22年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第3四半期	106,461	2.9	7,685	△17.1	8,804	△9.2	5,146	△10.6
21年8月期第3四半期	103,491	—	9,269	—	9,701	—	5,759	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第3四半期	103.96	103.95
21年8月期第3四半期	116.34	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第3四半期	199,644	162,497	81.4	3,282.22
21年8月期	195,784	159,524	81.4	3,222.23

(参考) 自己資本 22年8月期第3四半期 162,479百万円 21年8月期 159,513百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	17.50	—	17.50	35.00
22年8月期	—	17.50	—	—	—
22年8月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,700	5.0	8,874	△17.1	9,937	△11.8	5,787	△12.4	116.90

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

〔(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第3四半期	51,389,104株	21年8月期	51,389,104株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年8月期第3四半期	1,886,298株	21年8月期	1,885,234株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年8月期第3四半期	49,503,407株	21年8月期第3四半期	49,505,929株
--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱による株式市場の低迷や雇用情勢の悪化の影響による個人消費の低迷が続くなど、長期的なデフレ傾向の様相を呈しており、企業を取巻く環境は依然厳しい状況にあります。

小売業界におきましても、不透明な経済情勢から消費低迷や天候不順による業界の取引の停滞と店頭での厳しい販売競争が続いており、厳しい環境となりました。

このような状況のもと当社は、お客様に信頼される「商品」及び「サービス」の提供が出来る「基本の徹底」と「変化への対応」を基本方針とした営業活動を行ってまいりました。

売上の状況につきましては、前年同四半期累計期間と比べ29億7千万円増加（前年比2.9%増）となりました。

商品別の状況では、「リビング家具」、「その他の家具」、「DIY用品」、「家庭用品」、「インテリア用品」、「レジャー用品」は堅調に推移している一方、「収納家具」、「ダイニング家具」、「ベッド」につきましては、前年の実績を下回った推移となっております。

店舗の状況につきましては、平成22年4月にホームズ足立小台店（東京都足立区）及びホームズ川口店（埼玉県川口市）が計画どおり開店しました。これにより平成22年5月末日現在の店舗総数は54店舗となりました。

また、同年4月に売場見直し及びテナント誘致のため、ホームズ川越店を増床しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は、1,064億6千1百万円（前年比2.9%増）、営業利益は76億8千5百万円（前年比17.1%減）、経常利益は88億4百万円（前年比9.2%減）となりました。また、四半期純利益は、51億4千6百万円（前年比10.6%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

当第3四半期会計期間末における資産の部は、1,996億4千4百万円となり、前事業年度末に比べ38億5千9百万円増加しました。これは主に、商品が20億4千3百万円増加、有形固定資産が30億7千万円増加、投資不動産が17億7千3百万円増加し、有価証券が28億2千2百万円減少したことによるものです。

負債の部は、371億4千6百万円となり、前事業年度末に比べ8億8千6百万円増加となりました。これは主に、買掛金が12億2千1百万円増加、未払費用が4億8千4百万円増加、設備支払手形が8億7千8百万円減少したことによるものです。

純資産の部は1,624億9千7百万円となり、前事業年度末より29億7千2百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が34億1千4百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が4億4千5百万円減少したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末より24億9千7百万円減少し、196億5千1百万円となりました。当第3四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

減価償却費が30億1千9百万円、たな卸資産の増加額が20億4千3百万円、法人税等の支払額41億3千万円、税引前四半期純利益が87億5千3百万円になったことにより、営業活動により獲得した資金は75億9千8百万円（前年同期比35.9%減）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出が89億3千6百万円になったことにより、投資活動により使用した資金は82億9千1百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払額が17億5百万円となったことにより財務活動で使用した資金は17億4千9百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当該四半期における業績は、概ね計画どおりに推移していることから現時点における平成22年8月期通期の業績予想は前回（平成22年4月13日）公表どおり変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

- ・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないものと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

- ・棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しましては、実施棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実施棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

- ・繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

- ・税金費用の計算

税金費用については、税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(表示方法の変更)

当第3四半期累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)
<p>(四半期損益計算書関係)</p> <p>前第3四半期累計期間において、「貸貸収入原価」と表示しておりました勘定科目は、前事業年度末においてXBRL化に伴い「貸貸費用」に変更していることから、当第3四半期累計期間では「貸貸費用」に変更しております。</p> <p>前第3四半期累計期間において、特別利益の「その他」に含めていた「受取補償金」は、特別利益総額の100分の20を超えたため、当第3四半期累計期間より区分掲記することといたしました。なお、前第3四半期累計期間の特別利益の「その他」に含まれる「受取補償金」は18百万円であります。</p> <p>前第3四半期累計期間において、特別損失の「その他」に含めていた「固定資産除売却損」は、特別損失総額の100分の20を超えたため、当第3四半期累計期間より区分掲記することといたしました。なお、前第3四半期累計期間の特別損失の「その他」に含まれる「固定資産除売却損」は6百万円であります。</p> <p>(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)</p> <p>前第3四半期累計期間において区分掲記しておりました「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「貸付金の回収による収入」(当第3四半期累計期間は2百万円)については、当第3四半期累計期間において、金額的に重要性が乏しくなったため、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しております。</p>

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,526	10,323
受取手形及び売掛金	5,013	3,856
有価証券	19,909	22,731
商品及び製品	17,995	15,952
その他	4,756	4,342
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	57,196	57,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,650	41,731
土地	60,951	59,170
その他(純額)	6,490	12,119
有形固定資産合計	116,091	113,021
無形固定資産		
投資その他の資産	463	421
その他	26,101	25,349
貸倒引当金	△208	△208
投資その他の資産合計	25,892	25,140
固定資産合計	142,448	138,583
資産合計	199,644	195,784
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,410	25,867
未払法人税等	1,301	1,820
引当金	210	412
その他	4,543	4,695
流動負債合計	33,465	32,795
固定負債		
引当金	1,306	1,099
その他	2,374	2,365
固定負債合計	3,680	3,464
負債合計	37,146	36,260

(単位:百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,533	16,533
資本剰余金	19,344	19,344
利益剰余金	135,628	132,214
自己株式	△6,126	△6,124
株主資本合計	165,380	161,968
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,900	△2,454
評価・換算差額等合計	△2,900	△2,454
新株予約権	18	11
純資産合計	162,497	159,524
負債純資産合計	199,644	195,784

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)
売上高	103,491	106,461
売上原価	69,380	72,182
売上総利益	34,110	34,279
販売費及び一般管理費	24,841	26,593
営業利益	9,269	7,685
営業外収益		
受取利息	206	88
受取配当金	43	48
受取賃貸料	2,133	2,595
その他	672	573
営業外収益合計	3,055	3,306
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	496	54
賃貸費用	1,635	1,839
その他	490	293
営業外費用合計	2,623	2,186
経常利益	9,701	8,804
特別利益		
固定資産売却益	101	1
受取補償金	—	55
移転補償金	265	—
その他	36	—
特別利益合計	403	56
特別損失		
固定資産除売却損	—	30
会員権評価損	—	26
賃貸借契約解約損	280	40
その他	11	10
特別損失合計	291	107
税引前四半期純利益	9,813	8,753
法人税等	4,053	3,607
四半期純利益	5,759	5,146

【第3四半期会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	36,747	37,728
売上原価	24,512	24,984
売上総利益	12,235	12,743
販売費及び一般管理費	8,293	8,884
営業利益	3,941	3,859
営業外収益		
受取利息	66	19
受取配当金	19	26
受取賃貸料	825	886
その他	178	265
営業外収益合計	1,089	1,197
営業外費用		
支払利息	0	—
賃貸費用	596	711
その他	228	29
営業外費用合計	824	741
経常利益	4,205	4,316
特別利益		
受取補償金	—	30
移転補償金	38	—
その他	5	1
特別利益合計	44	31
特別損失		
固定資産除売却損	5	8
訴訟和解金	—	8
その他	—	0
特別損失合計	5	16
税引前四半期純利益	4,244	4,331
法人税等	1,742	1,778
四半期純利益	2,501	2,552

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	9,813	8,753
減価償却費	2,423	3,019
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	1
受取利息及び受取配当金	△249	△137
支払利息	0	0
為替差損益(△は益)	496	54
売上債権の増減額(△は増加)	△854	△1,156
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,624	△2,043
仕入債務の増減額(△は減少)	7,842	1,340
その他	1,074	1,759
小計	17,923	11,591
利息及び配当金の受取額	249	137
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△6,314	△4,130
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,858	7,598
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,214	△8,936
投資有価証券の売却による収入	3,370	—
貸付金の回収による収入	3,724	—
その他	960	645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,158	△8,291
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△5	△2
配当金の支払額	△1,700	△1,705
その他	△2	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,708	△1,749
現金及び現金同等物に係る換算差額	△496	△54
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,506	△2,497
現金及び現金同等物の期首残高	21,429	22,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,923	19,651

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

当第3四半期累計期間における売上実績を商品別に示すと次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間			(参考)	
	(平成20年9月1日～		(平成21年9月1日～			前事業年度	
	平成21年5月31日)		平成22年5月31日)			平成21年8月期	
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	前年比	金額(百万円)	構成比
収納家具	5,399	5.2	5,103	4.8	△5.5	6,443	4.7
リビング家具	5,338	5.2	5,736	5.4	7.4	7,244	5.2
ダイニング家具	5,653	5.5	5,651	5.3	△0.0	7,438	5.4
ベッド	5,165	5.0	5,051	4.7	△2.2	6,728	4.9
その他の家具	7,647	7.4	7,718	7.2	0.9	10,065	7.3
DIY用品	24,660	23.8	25,029	23.5	1.5	32,987	23.9
家庭用品	25,937	25.0	27,640	26.0	6.6	35,090	25.5
インテリア用品	11,187	10.8	11,450	10.8	2.4	14,641	10.6
レジャー用品	12,499	12.1	13,079	12.3	4.6	17,211	12.5
合計	103,491	100.0	106,461	100.0	2.9	137,851	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。